

業として改修工事が行われているが、直ちに浸水軽減には結びつかず、また、手城川の支流は、市の管理する川や道路側溝から流れ込んでおり、住民の安全・安心を確保するためにも積極的な施策が必要ではないか。また、設計時と流域の状況が変わっており、河川断面や、構造的、機能的に無理があるのでは。



治水対策が急がれる手城川

答 市事業では、排水ポンプの設置、ため池を洪水調整池として整備。県事業では、遊水池のしゅんせつ、河道の一部改修、排水ポンプ1基を整備し、現在、春日池を洪水調節池とする工事が、24年度の完成をめざし進められている。

この工事は、手城川の流量負担を軽減する効果が高く見込まれており、早期の完成に向け県に要望していく。河川断面は、将来の市街化が考慮された総合的な治水計画に基づき計画されており、春日池完成後に川底を掘り下げて必要な断面を確保する。

観光事業について
(明政会)

問 観光宣伝キャラバン隊により、ばらのまち福山を全国に発信させ観光客誘致と知名度アップを図ってこられたが、その効果は。また、景気対策として、ETC車は2年間、高速道路料金が土日祝日は一律1000円、平日3割引となるが、自動車での観光客の増加に伴う駐車場などの検討は。

答 大阪市のケーブルテレビで鞆の浦を中心としたコマーション番組を放映。旅館組合などの関係者と観光キャラバン隊を組織し、山陰・四国地方を加えた地域へ宣伝、旅行雑誌の出版社などにアプローチし、鞆の浦の特集掲載などに取り組み、知名度アップなどに

つながったと考える。また、山陽自動車道などのサービスエリアに観光ガイドマップを置き、ホームページで地図情報を充実する予定。駐車場対策は、鞆地区において必要度が高く、臨時駐車場の運用を参考にした対応を考えている。

高齢者福祉3施策について
(日本共産党)

問 本市は、新年度から、長寿祝金について77歳を対象年齢から除外し、給付額を一律2万円に改める、また、老人交通費助成事業に所得制限を設ける、あまみ等施術費助成事業についても見直しをするなど、それぞれの事業を、縮小・廃止すること。未曾有の経済不況の中、高齢者の暮らしを支える負担軽減策の縮小・廃止の方針は撤回を。

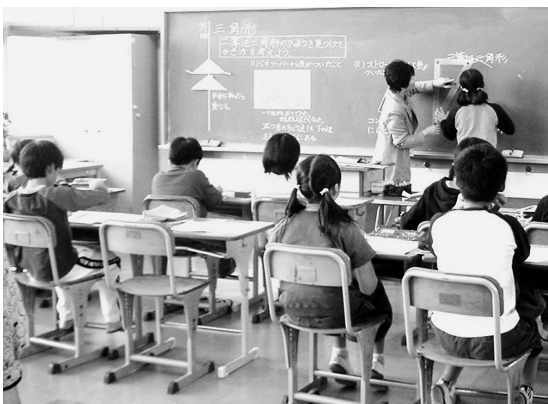
答 長寿祝金、老人交通費助成、あまみ等施術助成の3事業については、市民団体などの代表者による検討会を設置し、事業のあり方や方向性について検討していただいた。個人給付より地域福祉の充実をという検討会の意見を尊重し、見直していきたい。

◆関連質問

- ・福祉行政について (明政会)
- ・後期高齢者医療制度の廃止と介護保険料の軽減策を (市民連合)

少人数学級の導入について
(公明党)

問 教育の基本は教師と子どもたちの信頼の構築であり、その取り組みのひとつが少人数学級の導入である。20年9月議会以後の取り組み状況と今後の見通しは。



少人数による授業風景

答 現在、学年ごとの児童生徒の発達段階に応じた学級規模や、